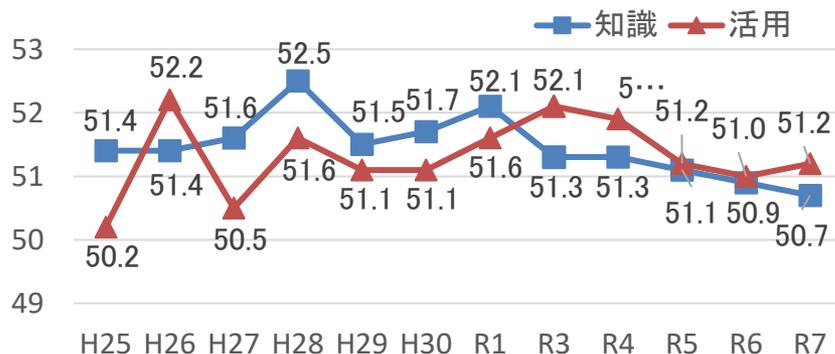


※目標値・・・学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、正答できることを期待した児童・生徒の割合を示したもの。

結果のポイント

1 偏差値の経年変化



○知識と活用ともに偏差値50を上回っている。

2 観点別の結果

観 点	県正答率	全国正答率	目標値
知識・技能	71.9	70.9	70.0
思考・判断・表現	65.3	62.6	63.0

○全ての観点において全国正答率を上回っている。

3 領域別の結果

領 域	県正答率	全国正答率	目標値
言葉の特徴や使い方に関する事項	72.7	71.9	70.6
情報の扱い方に関する事項	73.5	68.2	70.0
我が国の言語文化に関する事項	62.9	64.7	65.0
話すこと・聞くこと	75.5	75.4	71.7
書くこと	59.3	52.6	55.8
読むこと	66.2	66.2	65.8

○〔知識及び技能〕の2つの事項、〔思考力、判断力、表現力等〕の2つの領域においては全国正答率を上回っている。
 ▲〔知識及び技能〕「我が国の言語文化に関する事項」で全国正答率を下回っている。

4 解答形式別の結果

解答形式	県正答率	全国正答率	目標値
選択	67.3	66.7	66.5
短答	73.3	72.7	71.4
記述	63.9	57.3	58.3

○全ての解答形式において、全国正答率を上回っている。

■ つまづきが見られた問題

大問6(2) 県正答率 23.7% 県無解答率 26.3%
※出題の意図

自分の考えとそれを支える事例との関係を明確にしているかどうかを見る問題である。

【問題の概要】

・高山さんの「夏祭りに人が集まる理由は、地元の人たちみんなで夏祭りを作っているからだ。」という考えを支える事例を、「昨年の夏休みに行った人の話」と「夏祭り実行委員会の話」の内容から、一つずつ取り上げて書く問題。

児童の実態として、以下の課題があることが考えられる。

■ 考えとそれを支える理由や事例など情報と情報の関係について理解することができていない。

■ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができていない。

◆ 指導のポイント

指導に当たっては・・・

- ・児童が理解したり表現したりする上で、自分の考えがどのような理由や事例によって支えられているのかを吟味できるような手立てが必要である。
- ・自分の考えとそれを支える理由や事例といった関係性が明確になるように書き表し方を工夫することが重要であるため、理由や事例を示す表現を用いることができるようにする。

★ 指導の具体例

単元「もしものときにそなえよう」(光村図書 四下)を参考に

- ① テーマを決めて調べ、整理する。
・Aさんのテーマ「大雨のときのひなんについて」
- ② 文章の組み立てをたしかめる。
・調べたことを通して大切だと思ったことを「初め」「中」「終わり」で組み立てる。
・「初め」と「終わり」には、自分の考えを書く。
・「中」には自分の考えを支える理由や事例にふさわしいものを吟味する。

【Aさんの考えについての交流の例】



自分の考えが伝えるために次のような理由を考えたのだけど、どうかな。

「初め」【自分の考え】大雨のときには早めにひなんすることが大切

「中」【理由】にげるのがおけると、道路に水があふれて、ひなんがむずかしくなる

【調べたこと】

3年前のごうひがいをけいけんした人の話①
「気がついたときには、道路に水があふれていて、ひなん所に行けず、家の二階だったが不安だった。」

【調べたこと】

3年前のごうひがいをけいけんした人の話②
「大雨の中、ひなんしていると、強い雨で車が近づいてくるの見えず、あやうくぶつかりそうになった。」

「終わり」【自分の考え】大雨のときには早めにひなんすることが大切



けいけんした人の話を理由の中にあげたのはいいと思うよ。けいけんした人の話は、よりきけんなことが伝わって、説得力がある文章になるよね。



けいけんした人の話②は「ひなんしているときに見えにくかった」という例だから、「にげおけると、道路に水があふれて、ひなんがむずかしくなる」という理由の例としては合っていないと思うよ。

- ③ 理由や事例を示す表現について確認して、考えを伝える文章を書く。

- 考えを支える理由を記述する際には、「なぜなら～」、「その理由は～」、「～ためである」など、理由を示すことを明確にする表現を用いる。
- 考えを支える事例を記述する際には、「例えば～」、「事例を挙げると～」、「～などがそれに当たる」などの表現を用いる。

- ④ 書いた文章を読み返そう。
- ⑤ 文章を読んで感想を伝え合おう。